

三岸節子〈短歌ポスト〉 入選作品 (令和二年前期分)

選者 小塩卓哉(中部日本歌人会顧問)

【優秀作】

\*自画像\*

正面の三岸節子の自画像は少し上目に入館者を見る

名古屋市 今出 公志

〈評〉美術館のどこに絵が置かれるかはその絵の価値には直接関係のないことだが、節子の「自画像」はずつと定位置で、展示室に入ったとたん入館者はその存在感に佇むこととなる。絵のモチーフそのものを扱わず、美術館の空間のもつ意味に着目したことで、この短歌ポストでは唯一無二の存在感を出した作品。

\*花\*

あかあかと燃える魂にくしみも宇宙のなかのひとつにすぎず

一宮市 濱田 光耀香

〈評〉下句の「宇宙のなかのひとつにすぎず」は、あくまでも作者の思いにすぎないのだが、人間の感情などちっぽけなものだということの普遍性は、三岸が求めた絵画のモチーフの普遍性に通じるようでもある。絵画を鑑賞することで得られる慰めを示している歌。

\*ブルゴーニュの麦畑\*

金色の穂がさわさわと音をたて輝いている行ってみたいな

一宮市 河合 京子

〈評〉結句の「行ってみたいな」はいかにもシンプルであるが、そう思わせる率直さを、この絵画は有しているのである。「さわさわと」という音感を感じさせるような節子の描写力を、見事に言語化した作者であろう。

【佳作】

\*さいたさいたさくらがさいた\*

生き生きて生きて湧き立つさくら花優しき色にかけを宿して

愛知県豊橋市 前田 美紀

\*自画像\*

「お幸せ？」今日の節子は優しく微笑みかける午後のひととき

愛知県稲沢市 安田 一子

\*さいたさいたさくらがさいた\*

たくさんのお花がさいたよさくらの木きれいでゆう美すごいね節子

一宮市立大徳小学校 榊原 成葉

\*浜村美智子氏肖像画\*

近寄りて魅かれるように君を見る時空を超えて楽しむ刹那

一宮市 渡辺 なごみ